

三島支部主催 大阪社会福祉士会研修委員会協賛 大阪医療ソーシャルワーカー協会後援

研修委員会共通基盤研修班「アドボカシー研修」企画

平成 21 年度

ソーシャルワーカーの『アドボカシー』を考え直そう

きっと皆さんは「アドボカシーとは、排除されてきた人々の権利や利益を守り、エンパワメントすること」と頭では分かっておられるはずですが。

一方で、「あんたら(ソーシャルワーカー)にこそ偏見や差別意識があるんじゃないか」とクライアントから言われた経験はないですか。そんな話を耳にされた経験はないですか。

偏見や差別の目で社会的に排除されている、またされてき人々の目には、我々ソーシャルワーカーはどのように映っているのか。考えたことはありますか？

今回はHIV患者支援の領域から研究をつづけてこられた

関西学院大学 小西加保留 教授

をお迎えし、

ソーシャルワーカーとしてのアドボカシーを実践するということは、どのような意味をもつのか
それはどのような目的意図をもち、働きかけを誰と共に、如何に行うべきなのか

を考えたいと思います。

その後、HIV陽性者をお招きし、「命」の尊さを知る・守る、そんな一役を担うべきソーシャルワーカーに期待することを語っていただき、そのお話を受けてグループディスカッションを行います。

日 時 内 容 講 師	平成 21 年 11 月 22 日 (日) (受付 12:30)
	13:00 ~ 14:30 【理論編】
	関西学院大学社会学部 小西加保留 教授 「ソーシャルワーカーのアドボカシー」について学ぶ 参考文献：ソーシャルワークにおけるアドボカシー（小西加保留著 ミネルバ書房）
	14:40 ~ 15:25 【当事者の方からのメッセージ】 「アドボカシーの frontline にいるソーシャルワーカーに期待すること」 報告者 いく 氏 15:25 ~ 16:40 【グループディスカッションとまとめ】 コーディネーター 小西加保留 教授
	16:40 ~ 17:00 事務局報告
会 場	高槻現代劇場の所の市民会館 (住所：高槻市野見町 2-33 連絡先：072-671-1061) 阪急京都線「高槻市駅」から徒歩 5 分 JR 高槻駅歩いて 12 分です。
定 員	50 名 (先着順) 定員になり次第、締め切らせて頂きます。

参加費	会員：無 料	非会員500円
申込み	下記の申込書にご記入の上、三島支部 支部長 友常 FAX：072-698-1600 までお申込願います。	

参加申込書

(研修名：ソーシャルワーカーのアドボカシーを考え直そう)

(申込日) 月 日

氏 名		職 種	
日中の連絡先	TEL (携帯):		
	アドレス: @		
所 属	・ 会 員 (所属支部) 支部 (会員番号:)		・ 非会員
参 加 動 機			
その他 (質問等)			

このままFAX願います。(072-698-1600)

会 場
* 分かりにくい地図ですみません。
Aが今回の会場の高槻現代劇場です。お間違いのないよう、お越しください。

